

## 金融トピックス ( 97 / 1 )

### 正月の株価急落、銀行を襲う

英国有力信用格付機関 I B C A は、株価に対する日本の銀行の脆弱な体質が一向に改善されず、邦銀はそれを知りながら何の手も打っていないと警告した。

.....昨年未からの株式市場の急落が、株式を大量に保有し且つその含み益に依存した経営を続けてきた銀行を直撃、決算を3月に控えた金融界に緊迫感がただよい始めた。

金融専門誌は、日経平均が1万6千円台で、大手銀の中では日債銀、日本長銀及び安田信託の3行が今期経常赤字に陥る、今回の株価急落が、要注意銀行(第二地銀以上で大手行も含め37行程度とされている)に更に追い打ちを駆け、外為や短期金融市場から徐々に閉め出される可能性がある、ことを指摘している。

株価指数の下落それ自体は先週号でも云ったように、マーケットが個別企業の株価の適正価値を模索する動きの中で当然起こるものと理解すべきであり、健全且つ合理的な動きと云っていいと思う。

今回のように株価が急落すると、「株価対策を打つべきだ」というような議論が必ず出てくるが、そうした「対策」がむしろ市場を蝕み、問題の解決を遅らせてきたことを認識すべきだ。株価を維持することが重要なのか、株価下落で影響を受ける先を救済することが重要なのか、あるいは市場のメッセージを真摯に受け止めることが重要なのか...。羅針盤はない。

### 住友銀、無担保融資で新制度

同行は、今月より中小企業を対象とした新しい無担保融資の取り扱いを開始する。審査の手続きを簡素化し、申し込みから3日以内に実行出来るようにしたのが特徴。

.....この制度はまだまだ改善の余地はあると思うが、中小企業の倒産確率を設定金利に織り込んでいるという点が注目される。貸出に伴うあらゆるリスクを貸出金利に反映させることが出来れば、銀行は無担保融資をかなり拡大することが出来ると私個人は考えているが、この制度はそうした意味で注目していい制度である。

### インターネットに仮想銀行

富士通は今月より、第一勧銀等複数の銀行と共同でネット上に仮想銀行(バーチャルバンク)作りに乗り出した。

.....米国では既に一昨年インターネット上に従業員50人の銀行が出現し、多くの顧客を獲得していると云う。バーチャルバンク(現実世界に店舗を持たないネット上の銀行)は、店舗不動産コストと人件費を圧縮出来る点でコストパフォーマンスに優れ、消費者(預金者、借入者)に有利な金利設定が出来ること、及び365日24時間営業が最大の武器で、既存の銀行を脅かす可能性を持っている。

電子マネーとバーチャルバンク、次代の銀行はこの二つをめぐって揺れ動くだろう。

### 証券VS地銀

大手証券と地銀が、それぞれの持ち合い株の処分をめぐって各地で火花をちらしている。

.....野村証券等の大手証券は、系列ノンバンクに対する資金支援で今期巨額(4社で7千8百億円強)の支援損を計上する見込みで、その為保有銀行株の売り切り処分による益出しを行う予定だが、売り対象となった地方銀行の反発を喰らっている様子。野村証券は西日本のある地銀で出入り禁止になったという噂もある。

いずれにせよ、株式持ち合い解消の流れは止めることは困難であろう。事業会社が今後放出する公算のある銀行株は、7~11兆円に達すると見る向きもあり、銀行株は長期的に相当な売り圧力に晒されると見た方がいい。

ちなみに昨年3月末の銀行株の時価総額は株式市場全体の約20%で、主要国の銀行株の市場ウエイト(米7.7、英10.6)と比べ著しく高いのが実状である。

### § 株投実践コーナー §

#### 今週のポジション

《買》日本梱包運輸第3回CB 100.00円  
(利回り、株安)

年初の「信越化学、オリックス買いの中央信託売り」ポジションは、継続したいと思ったが維持コストが高いこともあり、22日取引を閉じた。マーケットは総悲観に近く、売り注意、仕込みの検討期。